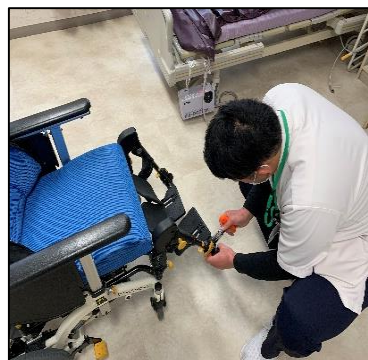


療養・包括ケア病床の 車椅子とリハビリテーション

リハビリと車椅子は深く関係しています。リハビリの語源は"再び出来るようになる"であり、車椅子が"再び座れるようになる、移動できるようになる"ための補助具だからです。

写真(右)の矢印部分を写真(下)のように調整したり、リクライニング等の機能を生活中で取り入れられるように医師や看護師と相談・運用したり、当院の車椅子では間に合わない場合は業者からレンタルをして対応しています。



当院の療養・包括ケア病床で多い車椅子の調整事例には、食事姿勢が合わないことで誤嚥をしやすい患者さんへの対応があります。“再び安全な食事が出る”ように、まずは嚥下機能検査を受けて頂き、その人に合った食事姿勢などを医師に判断をしてもらいます。次にその姿勢で食事に臨めるようにリハビリ職員が車椅子の調整をします。そして実際の食事場面で安全に食事が出ているかを看護師等が確認します。今後も車椅子の調整を含め、患者さんの“再び出来るようになる”を支援をしていきます。

豊田えいせい病院
リハビリ新聞



2022年
3月25日
第35号

地域包括ケア病棟が60床に

今年3月から療養病棟3階が60床すべて、地域包括ケア病棟になりました。この病棟は、平成26年度診療報酬改定にて新設され、徐々にその名が浸透してきています。急性期治療を経過した患者さん、または在宅で療養している患者さん等を受け入れ、在宅復帰支援を行っています。



ミーティングにて情報共有するスタッフ達

リハビリ小ネタ

口まわりは大切 シリーズ⑦

前回お伝えしたように
肺炎患者さんの約7割が75歳以上の方。そのうち、7割以上が【誤嚥性肺炎】。

今回は**【誤嚥性肺炎】の予防**についてです。
出来ることから行っていきましょう！

～予防のポイント～

【食事中】

- ①よく噛んでゆっくり食べる
- ②食後すぐに横にならない
- ③ながら食事をしない
- ④飲みこんでから次の食べ物を食べる

【普段からの心掛け】

- ⑤口の中を清潔にする
- ⑥免疫力低下を予防する
- ⑦食材への知識や食べ方を工夫をする
- ⑧吐き出す力を高める
- ⑨飲みこむ力を鍛える



次号は、食材の知識と工夫についてお伝えします。

リハビリの事なら、
豊田えいせい病院に
お任せください！



豊田えいせい病院 診療技術部

回復期リハビリ科 TEL: 0538-34-6123 FAX: 0538-34-6231

療養リハビリ科 回復期リハビリ科と共通

通所リハビリ科 TEL: 0538-34-6223 FAX: 0538-34-6222

訪問リハビリ科 TEL: 0538-34-6137 FAX: 0538-34-6231